内閣府
戦略的イノベーション創造プログラム SiP

東北大学 個別テーマ：EBPMモデルの設計・構築・社会実装

採択課題名
スマートインフラマネジメントシステムの構築
サブ課題E「スマートインフラによる魅力的な国土・都市・地域づくり」
研究開発テーマe-2「EBPM※による地域インフラ群マネジメント構築に関する技術」

※EBPM（Evidence Based Policy Making）：政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠（エビデンス）に基づくものとすること。（内閣府ウェブサイトより）

目的

- 地域の道路ネットワーク（**市町村道、生活道路**）を対象とした**地域特性に応じたメンテナンス手法を構築**し、モデル自治体へ導入する。

研究成果

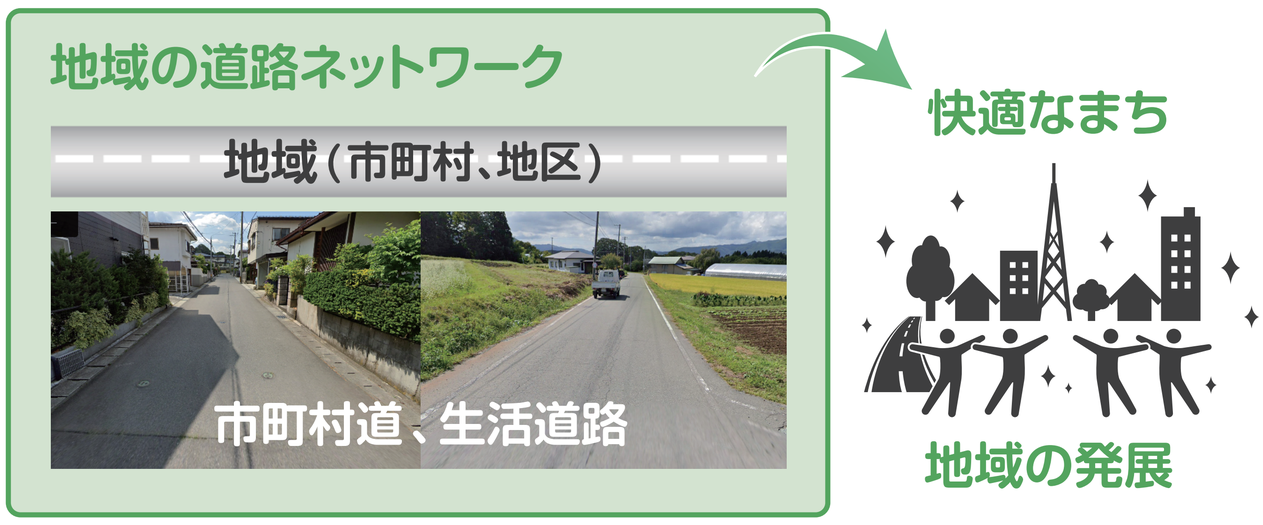
- 交通弱者の生活利便性の向上を図るなど、**舗装修繕工事の優先順位の設定**を可能にする。
- 産業や観光等、地域の価値向上につなげる為の**舗装大規模改修などの計画**を可能にする。

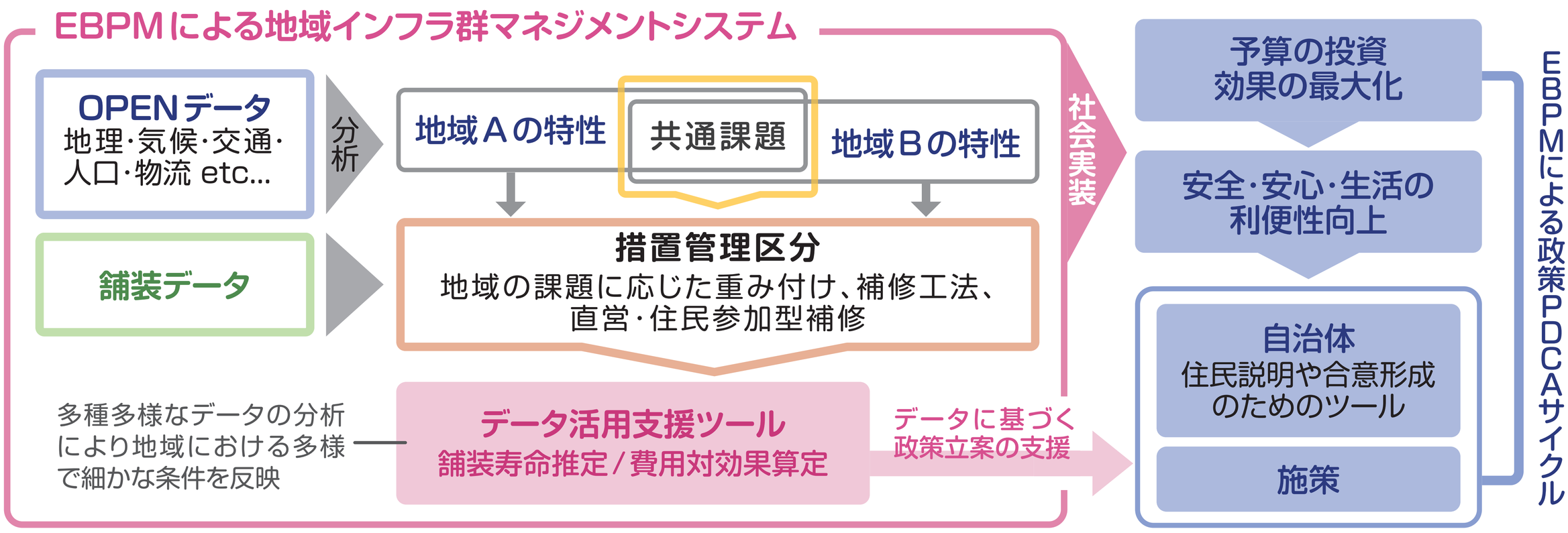
達成目標

- **モデル自治体（現時点で２自治体を予定）へ導入**
- 上記自治体での実証を経て**他自治体へ展開**

研究内容

- データ分析による道路維持管理支援システム（別途に構築）を用いて、**地方自治体におけるEBPMの実行環境を整備**する。
- 道路舗装の維持管理データと地域特性データ（地理、気候、生活、文化等）の組み合わせにより、地域道路の役割を最大化するような **EBPM のユースケースを検討**する。





体制

研究開発機関
東北大学IMC

協力機関
- ニチレキ（株）
- 福井コンピュータ（株）
- （有）吉川土木コンサルタント
- （株）IML

お問合せ先
東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センター
TEL：022-721-5503　E-mail：inquiry-imc@grp.tohoku.ac.jp　HP：https://imc-tohoku.org/